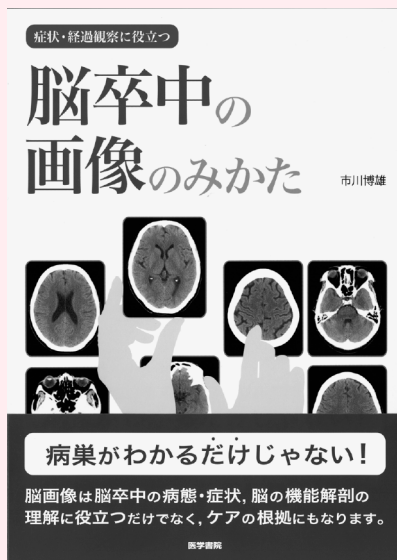




症状・経過観察に役立つ 脳卒中の画像のみかた

市川博雄＝著
本体 2500 円＋税
医学書院 ☎ 03-3817-5657

「脳卒中にはチーム医療が不可欠である」とする神経内科医が、看護をはじめとする医療スタッフに向けて書いた、これまでに例のない画像の見方ガイドブック。梗塞や出血の部位による症状と治療、経過のポイントを、画像の特徴と併せて簡潔かつ詳細に伝える。脳卒中患者の片麻痺・失語・失行・失認など、さまざまな症状と脳画像とを関連づけ、画像と症状をセットで理解すること、可能にする。症状の変化を見逃さない、日常ケアの強い味方に！

介護経営黒字化の極意

空野暉尚＝著
本体 1200 円＋税
幻冬舎メディアコンサルティング ☎ 03-5411-6440



「収支差額率 20% を実現する、社会福祉法人理事長が明かす社会福祉法人黒字化のための経営手法（本書帯より）。介護政策と現状のミスマッチを鋭く指摘しながら、サービスを低下させることなく効率化をもたらすノウハウを提言。予想される日本という国の危機的状況は、元氣な高齢者を増やすことで打破できる！元氣の出る本。

たんぼ先生の 在宅報酬算定マニュアル 改訂版 2014 年度改定完全対応

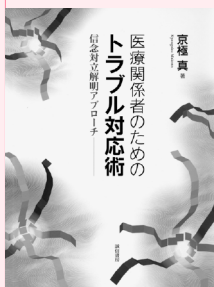
永井康徳＝著
本体 3200 円＋税
日経 BP 社 <http://ec.nikkeibp.co.jp>



今年度の診療報酬改定に完全対応した「在宅報酬マニュアル」。在宅医のバイオニアたんぼ先生が、「医療者の無知は患者にとって罪」（表紙裏より）。医療保険・介護保険にまたがる複雑な在宅報酬の仕組みを、勘所 90 項目を中心に簡潔に解説。在宅医、訪問看護師、ケアマネジャーなど関連職種必携。

医療関係者のためのトラブル対応術 信念対立説明アプローチ

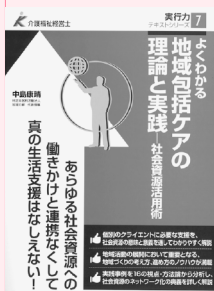
京極真＝著
本体 2000 円＋税
誠信書房 ☎ 03-3946-5666



人のもつ強い思い込み、その対立から引き起こされる「信念対立」。至るところで起こり得るこの対立の構造を解き明かし、物事を根源からとらえ直すのが「信念対立説明アプローチ」。組織内のトラブル、個人と個人の行き違いなどから起こる、ネガティブな感情からの解放のために、ぜひ取り入れたい発想の転換の方法論。

よくわかる 地域包括ケアの理論と実践—社会資源活用術

中島康晴＝著
本体 1800 円＋税
日本医療企画 ☎ 03-3256-2861



テーマは「個別支援と地域支援の関係を整理すること。そして、私たちがその双方とどのように向き合うべきか（あとがきより）。社会福祉実践や介護福祉施設の経営には、社会環境と向き合う「マクロ」の視点をもつことが必要と訴える。その理念に裏打ちされた理論と実践は、読みこたえ十分。